

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

健康づくり推進課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島がん高精度放射線治療センター		
所在地	広島市東区二葉の里三丁目2番2号		
設置目的	がんの治療水準の向上を図るため、がん患者に対して放射線による治療を提供する。		
施設・設備	リニアック治療室、診察室、治療計画室、患者待合スペース等		
指定管理者	2期目	H31. 4. 1～R 6. 3. 31	(一社) 広島県医師会
	1期目	H27. 10. 1～H31. 3. 31	(一社) 広島県医師会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	新規患者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	2期	R4		662人	760人	134人
R3			693人	626人	16人	△67人(90.3%)
R2			693人	610人	△76人	△83人(88.0%)
R1			643人	686人	109人	43人(106.7%)
1期	H30		610人	577人	23人	△33人(94.6%)
1期平均 H27～H30			588人	521人	—	△67人(88.6%)
(導入前)			—	—	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え、検診控えにより減少していた患者数が、令和3年度後半から回復傾向にあること、また、オープンカンファレンスで治療成績等を紹介し、HIPRACにおける治療の優位性の認知が広がったことなどにより新規患者数が増加したものと考えられる。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	センターの医療サービスに対する患者の満足度調査を実施	センターで治療を受けた患者を対象に8～9月に実施(有効回答数133名)
	【主な意見】	【その対応状況】
	・受付対応への苦情 ・入院施設がないことへの苦言	・医事スタッフへの注意、改善依頼 ・センターの設立目的や治療提供体制の説明

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	治療実績等報告
	日報(必要随時)	○	患者紹介状況報告、診療報酬請求報告
管理運営会議(回・現地) (運営協議会 年2回・県庁他)	【特記事項等】 ・4基幹病院、県、広島市、県医師会の7者で構成する運営協議会を年2回ペースで開催し、運営方針等について協議している。 ・通常の業務運営については、随時、県と指定管理者で協議している。		
現地調査(4～5月に実施)	【指定管理者の意見】 ・運営に当たっては、県等と相談・連携しながら、丁寧に取り組む。 【県の対応】 ・センターは7者の連携共同事業として運営していることを踏まえ、指定管理者と十分に意思疎通を図りながら取り組む。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	2期	R4	7,482		0	料金 収入 (決算額)	2期	R4
R3			7,482	0	R3	517,848			7,763
R2			7,482	68	R2	510,085			△13,465
R1			7,414	△185,262	R1	523,550			121,046
1期平均 H27～ H30		192,676	—	1期平均 H29～ H30		402,504		—	
(導入前)		—	—	(導入前)		—		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	7,482	7,482	0	
		料金収入	631,063	517,848	113,215	患者数の増、利用料金制(※1)
		その他収入	0	330	△330	新型コロナ緊急包括支援交付金の減
		計(A)	638,545	525,660	112,885	
	支出	給与費	252,038	246,496	5,542	勤続年数の増加に伴う自然増、県人勤に基づく給与改定に伴う給与月額の上昇
		材料費	10,689	7,191	3,498	治療患者数の増
		水道光熱費	28,671	18,584	10,087	治療患者数の増に伴う使用量の増、単価の上昇
		消耗品費等	7,483	7,302	181	治療患者数の増
		管理委託費等	172,643	171,673	970	治療患者数の増による医事事務委託費用の増
		研修研究費	3,143	1,775	1,368	自粛していた学会参加の再開による増
修繕費		3,938	2,879	1,059	修繕箇所の増	
その他		680	680	0		
計(B)	479,285	456,580	22,705			
収支①(A-B)		159,260	69,080	90,180		
自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—		
	支出(D)	—	—	—		
	収支②(C-D)	—	—	—		
合計収支(①+②)		159,260	69,080	90,180	(うち県への納付額 159,260 千円)	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業。

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
<p>施設の効用発揮</p>	<p>○施設の設置目的に沿った業務実績</p> <p>4 基幹病院とその他のがん診療連携拠点病院と連携したネットワーク型がんセンターとして、各医療機関からの紹介患者に高精度放射線治療を行い、開設以来、着実に紹介元医療機関数が増加している。</p> <p>診療では医療事故は発生しておらず、紹介元の医療機関、治療を受けた患者からも高い評価と信頼を得ている。</p> <p>○業務の実施による、県民サービスの向上</p> <p>平成29年度から開始した人材育成セミナーを会場とWebの併用開催し、放射線治療に携わる人材育成を積極的に行うとともに、平成28年度から開始した放射線治療技術の均てん化を目的とした技術支援を充実した。</p> <p>○業務の実施による、施設の利用促進</p> <p>昨年度に全面更新したセンターのホームページについて、定期的にアクセス解析等を実施し、治療内容や治療実績等、ニーズに沿った情報公開を行っている。</p> <p>さらなる医療連携強化・推進に向け、医療機関へのセンター長訪問の積極的な実施や、県民セミナーやオープンカンファレンスを会場とWebで併用開催し、認知度の向上に努めた。</p> <p>また、放射線治療部門のない医療施設へセンターの医師を派遣し、専門外来を設置する「HIPRAC外来」を引き続き実施した。</p> <p>○施設の維持管理</p> <p>施設内外の巡回や日常の機器メンテナンス等を通じて汚損や故障等の把握に努め、安全性と清潔さの維持に努めている。</p> <p>また、リニアック室で使用しているGHP エアコンの運転時間が設計耐用時間を大きく超えており、継続使用による突発的な不具合・故障を防ぐため、室外機ユニットの保守調整を行った。</p>	<p>安全で質の高い治療を、適切な感染対策を行ったうえで提供しており、設置目的である県のがん医療水準の向上に貢献できている。</p> <p>開業から7年半、事故なく運営できており、医療スタッフ等の対応についても評判は良く、高い信頼を得ている。</p> <p>人材育成においても研修の開催や技術支援の内容を拡充させるなど放射線治療の水準の向上に貢献している。</p> <p>新規紹介患者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向にあったが、令和3年8月以降増加に転じており、オープンカンファレンス等の開催やチラシ・ポスターの配布、「HIPRAC外来」等の紹介患者数を増やすための活動を積極的に行っている成果が出ている。</p> <p>施設の巡回を適切に行い、汚損等に迅速に対応しており、医療機関にふさわしい医療安全・感染対策が行われている。</p>
<p>管理の人的基礎</p>	<p>○組織体制の見直し</p> <p>高度な専門性を有する医療スタッフを確保し、安全かつ適切な医療を提供している。</p> <p>○効率的な業務運営</p> <p>増加する患者全てを受け入れ、適切に治療を実施するため、治療時間の延長やスタッフの配置見直しを行うなど、センター全体の効率的な業務実施の観点から運営に取り組んだ。</p> <p>○収支の適正</p> <p>患者数・収入ともに計画を大きく上回り、目標を達成した。引き続き、上記の取組を継続的に実施していく必要がある。</p>	<p>専門性の高い医療スタッフを確保できている。</p> <p>機器の保守、管理委託料、光熱水費、診療材料、消耗品等の経費の節減だけでなく、人件費等の固定経費の精査をした上、時間外勤務縮減のため業務効率化に努めている。</p>

総 括	<p>放射線治療を必要とするがん患者に対して、迅速かつ丁寧に、安全で質の高い治療を提供した。</p> <p>今後も、紹介患者数の増加に向けた取組を継続するとともに、センター設置目的のもう一つの柱である「人材育成」や「技術支援」についても、更なる拡充を進める。</p> <p>また、高精度放射線治療の対象となる患者数の増加に向けた取組を行う。</p>	<p>患者に対し、質の高い放射線治療を安全に提供できており、施設の目的に沿った運営が行われている。</p> <p>令和4年度は紹介患者数及び収入が目標を共に達成した。引き続き、4基幹病院以外の病院も含め、施設の認知度向上やセンターの優位性のPR等を行い、センターの設置目的に沿った、高精度放射線治療の対象となる患者数をより増やしていく必要がある。</p>
-----	--	---

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	<p>センターの行う特徴的な治療等について県民への広報や医療関係者への働きかけを進め、紹介患者数の増加を図る。</p> <p>引き続き、安全かつ質の高い医療の提供を行う。</p> <p>県内外医療機関の放射線治療の品質管理に対して、技術的な支援を行う。</p> <p>人材育成に資する取組を強化する。</p>	<p>引き続き、適切な目標治療患者数を設定した上で、指定管理者と協力し、4基幹病院だけでなく、それ以外の医療施設にもセンターで行う治療や感染対策について積極的にPRし、更なる患者紹介・収入確保につなげる。</p> <p>患者増に伴う業務過多により、医療の質を低下させないよう業務管理を徹底する。</p>
中期的な対応	<p>着実に治療実績を集積し、適時の情報提供のための体制を強化し、他科からの患者紹介の増につなげる。</p> <p>高精度放射線治療を担う医療人材を育成する。</p> <p>収支均衡を図り、安定した事業運営を行う。</p>	<p>センターの優位性を客観的に示せるよう、治療実績を集積し検証する。</p> <p>不足している放射線治療に係る医療人材の育成を推進する。</p> <p>運営費の補填を行うことがないように引き続き運営コストの縮減を図る。</p>